

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [木津川市立木津南中学校] 担当教諭名 [宮原 麻美] (美術部 23名)

相手国・地域 [デンマーク]

海外学校名 [Maglegårdsskolen] 担当教諭名 [Gitte Tjellesen]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	美術部	アートマイルプロジェクトで世界につながろう	55

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	“Our Dream. ~Making our puzzle of the future~” 「私たちの夢～未来のパズルを作りましょう～」
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの夢を詩やメッセージで交流しました。それぞれの夢は同じもの、違うものはあるけれど、地球環境が守られていて(地球と樹)、お互いを理解し、平和な世界であることが(中心の日本人少女とデンマーク人少年)、夢の実現には不可欠だと気付き、様々な夢の実現への努力をパズルの完成に見立てて表現しました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今年度も関西セミナーに参加し、相互交流の方法や大切さを学んだ。今年度は自己紹介も動画で行った。相手校の先生の提案で、夢を主題にした詩を作り、交流した。相手校はあまり絵画制作に慣れておられなかったが、塗り方やテクニックについての動画を送り、参考にしてもらった成果か、とても良い作品に仕上がっており、生徒たちも大変満足していた、	今回もフォーラムでのやりとりが主で、スカイプ会議ができなかった。フォーラムはできるだけすぐに返事を送ることにしたが、壁画が着いてから、忙しさのため、こちらもあまり写真等を送れず、相手側も長期休みに入ったので、少し交流が止まってしまったのが残念だった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
調べ学習の中で、デンマークは福祉が充実していて国民の幸福度の高い国だと知り、日本との違いについて考えることができた。特に、デンマークの生徒の夢が、「幸せな家庭」というものが多くて驚いていた。「自分たちの生活」を見つめなおす、良い機会になったと思う。	前年度のネパールと比較しても、自分の国であまりまえない事が、他の国ではそうではないという事を学べた。今回もスカイプ会議ができなかったが、相手国がこちらの意図をよく汲んで、リクエスト通りに仕上げてくれていて感動した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	デンマークの調べ学習をするのと同時に、自己紹介を英語で考え、ALTの協力を得て、メッセージの動画を撮った。	個々の生徒の英語の力は様々だったが、緊張しながらも楽しそうだった。	部活動
共有 テーマ学習	9月 ～ 11月	デンマークについてテーマを分担し、調べ学習をして発表しあった。相手の国の歴史や伝統文化と共に普段の生活に興味を持った。お互いに夢をテーマに詩を書いて交流した。	図書館には資料があまり無く、主にネットで調べた。相手の国の資料や生活の様子、歴史や文化を興味深そうに見ていた。グループで協力して詩作りをし楽しそうに交流した。	部活動
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイ	11月 ～ 3月	アイディアスケッチを出し合い、良かったものから構図を決めていった。絵の中に自分たちを描く表現方法を工夫した。色の塗り方の動画を数本撮ってフォーラムで送った。	自分たちのアイディアを組み合わせるのが楽しそうだった。色の塗り方や注意の動画作りもアイディアを出し合い、撮影した。	部活動
創造 壁画制作	11月 12月	12月は休日のほとんどを壁画制作にあてた。まとまった時間がとれて、制作も早く進み、予定通りの日程で完成することができた。	初めてテントアートで色塗りをする1年生も、発色の美しさや塗りやすさを楽しんでいた。上級生がグラデーションの塗り方などを教えていた。	部活動
評価 振り返り 自己評価	3月 4月	送られてきた壁画を展示した。鑑賞して感想文を書き、感想を英語で伝えるために練習し、動画を撮影した。	送られてきた壁画や、相手の制作中の写真を見て感慨深そうだった。プレゼントのお菓子も喜んでた。感想の動画を撮るために、頑張って練習に取り組んでいた。	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自分たちの「夢」について、それぞれが考えることができたが、日本的な文化について深めるところまではいかなかったと思う。
異文化を理解する力	4	今まであまり情報の無かったデンマークについて、同世代に向けての視点から知る事ができた。個々にもっと交流できたら面白かったと思う。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	PC室を使って調べ学習をしたり、I PADで動画を撮ることができた。知的好奇心を割合早期に満たすことができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	心を込めて年賀状メッセージカードを作り、相手から送られてきたカードもALTの協力で翻訳することができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	相手に対する興味が湧いてきたところで、まだまだ自国との比較や客観的な視点を持つのは難しかったと思う。
主体的に考え行動する力	4	前年度経験した上級生が、自分なりに考えて、下級生にいろいろアドバイスをしていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	上級生と下級生でチームを作り、協力して制作を進められた。海外の相手もこちらの意図をよく理解して、完成させてくれていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	自分たちの想いを形にするために、構図も粘り強く考えて決めていた。何をどう描くか、チームで相談して工夫していた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	6月の最終展示後に鑑賞&感想交流をするつもりなので、まだ評価できません。